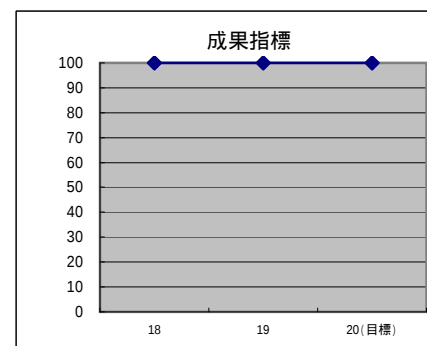
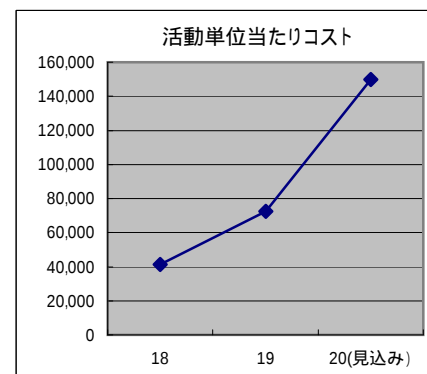


事務事業名		市有建築物等営繕業務		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	8	土木費	
					項	1	土木管理費	
					目	2	維持管理費	
					事業	8	営繕	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち	作成部署				土木部維持管理課
	施策(節)	3	行財政運営	連絡先				072 - 958 - 1111 内線 2910
	施策の方向							
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	市有建築物							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	安全性及び利便性を高める。							
	市有施設破損箇所及び不具合のある箇所を迅速に修繕する。							
	施設所管課からの依頼に基づく施設の補修、修繕 反射鏡の設置等							
根拠法令等								
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 52 年 月開始 ☐ 明確にはわからない						
事業開始時からの状況変化		終了年度 平成 年度						
市民や議会の要望								
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託 名称 ☐ 民間委託		委託内容				

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		892	958	1,116
人件費【2】 (千円)		36,450	33,190	35,590
職員数	正規職員	4.00 人	3.35 人	3.35 人
	再任用職員	0.00 人	1.00 人	1.00 人
	嘱託職員	1.00 人	1.00 人	2.00 人
	臨時職員	0.25 人	0.25 人	0.25 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		37,342	34,148	36,706
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	37,342	34,148	36,706
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
作業実施件数 件		903	470	245
依頼件数 件		629	341	165
自主作業件数 件		274	129	80
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		41,353 円	72,655 円	149,820 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		310 円	285 円	306 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	式)	作業実施率(%)	緊急性や優先順位の高い依頼等に対して適正に実施することが成果	目標	100.0	100.0	達成率(%)
				実績	100.0	100.0	100.0%
	式)			目標			達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	施設の設置者として営繕業務を行うことは、必要である。
		○		○							

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い 市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない 社会情勢の変化に対応している 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 国・府の事業と重複していない 事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる	☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	市有建築物は、経年変化によりかなり老朽化が進んでおり、安全性を確保するうえで事業を廃止することはできない。
分析・評価	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など) 受益者負担の割合は適当である 人員を削減する余地がない 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない 市の他事業と重複していない 民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒ ☐ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒	☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である 上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である 成果を向上させる余地がない 市民の視点にたってサービスが提供されている	☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している 事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている 事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	☒ ☒ ☒ ☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	
						限られた人員、事業費の中で、効率的な対応を図っている。作業依頼を全て民間業者に発注することは可能であるが、施設管理者のニーズに合った臨機応変な対応ができるかは疑問である。
						施設の安全性及び利便性の向上に貢献している。

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	市有施設の破損箇所等について迅速に補修等を行うことが可能であり、施設の管理面等から必要である。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	限られた人員・予算の中で、施設所管課と連携を図り、さらなる施設の保全に取り組む。